

# 第 31 回 経営協議会議事録

日 時 平成 21 年 10 月 15 日(木) 10:00～12:35  
場 所 本部棟大会議室  
出席者 長澤学長，伊藤理事，牧野理事，棚橋理事，山口事務局長，前田副学長，  
大社委員，鈴木広子委員，鈴木行生委員，柚原委員，渡辺委員  
欠席者 砂川委員  
陪席者 西村監事，竹川監事，本江副学長，宮本副学長

議事に先立ち，議長から，6 月 18 日開催の第 30 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

議長から，10 月 1 日に経営協議会委員に就任した柚原 一夫(ゆはら かずお)委員の紹介があり，柚原委員から就任の挨拶があった。

## 議 題

### 1) 目的積立金の使途について

### 2) (仮称)コミュニケーションプラザ整備計画について

議長から，議題 1 と議題 2 は，関連するため一括して説明したい旨発言があり，資料 1 及び資料 2 に基づき，説明があった。

構成員から，以下のような発言があった。

- ・ 外国人研修生の宿泊施設については検討しているのか。
- ・ コミュニケーションプラザでは，LAN 環境や，会議室におけるパソコンやプロジェクターの整備，雑誌や DVD 等，コミュニケーションを促す環境が必要ではないか。また，そのためには運営費が必要だと思うが，会議室等の使用料を徴収するのか。
- ・ 1 億 4 千万円の余剰金を生むために，どのような経営努力をしたのか。また，更なる経営努力により，今後も余剰金の増加を見込むことができるのか。

構成員からの発言に対し，議長から以下のような発言があった。

- ・ 外国人については，従来どおり国際交流会館の活用と，市営住宅を安く提供していただいていることで対応する。学生寮の改修により，女子寮が空くので，活用について検討している。
- ・ コミュニケーションプラザの使用に関し，学生から使用料を徴収することは基本的に考えていない。使用料を徴収するとしたら一般開放で，そのためには施設を使いやすいよう，使用時間や料金等について検討する必要があると思う。

- ・ 会議室に大型スクリーンを設置して、映画鑑賞やスポーツ観戦等、催し物に対応できるようにしたい。
- ・ 余剰金の増加については、人件費の影響が大きい。本学は教授が多かったが、減らすように努めたし、できるだけ補充もしないで人件費の抑制に努めた。畜産フィールド科学センターの牛乳売払いや、動物医療センターの診療の利益はそう大きくないので、今後も大幅な増加は見込めないのではないか。

余剰金について、竹川監事から以下のような発言があった。

- ・ 余剰金に寄与する金額を正確に出すことはできないが、人件費の削減や外部資金の間接経費が影響しているのではないか。

審議の結果、原案どおり承認した。

最後に、施設課長から、コミュニケーションプラザについては、11月中旬に着工し、今年度中に完成する予定である旨、発言があった。

### **3) 平成 21 年度追加予算配分について**

議長から、資料 3 に基づき、平成 21 年度追加予算配分について説明があった。

引き続き、財務課長から資料 3 に基づき、説明があり、例年は 1 月に追加予算配分をするが、今年は第 1 期の決算があり、早めに予算配分するため、10 月の経営協議会で審議いただきたい旨発言があった。

構成員から、太陽光パネルの設置場所及び今後の予定について質問があり、施設課長から、図書館の屋上に設置すること、今後も自然エネルギーの活用をしていきたい。なお、コミュニケーションプラザにも設置する計画である旨発言があった。

審議の結果、原案どおり承認した。

### **4) 平成 20 事業年度財務分析について**

議長から、資料 4 に基づき、今年度は、法人化後第 1 期(6 年間)の総決算になる旨発言があったあと、財務課長から資料 4 について説明があった。

続いて、竹川監事から、補足説明があった。

構成員から以下のような発言があった。

- ・ 本学は、他大学と比べて一般管理費の割合が多いのではないか。
- ・ 人件費は、平均年齢と平均勤続年数を考慮する必要があるが、一般的に定年退職または定年後の嘱託への移行で定期給与の支払額が減少するので、新規に若年者を雇用していくと(賃率が下がるので)、組織の人員の循環バランスが良くなると年間の総定期昇給原資は生み出されていくようになる。採用と組織の人員バランスが重要であり、総人件費の目途が立ちやすいのではないか。

- ・ 財務分析は、どんな考え方で活用していくのか。

竹川監事から、以下のような発言があった。

- ・ 一般管理費については、国立大学の時に施設、設備の修繕が進まなかったもので、法人化以降、修繕費が高い水準を維持している。また、水道光熱費は一般管理費とそうでないものに分けているが、その按分の方法に原因があるのではないかと考えている。

議長から、以下のような発言があった。

- ・ 財務分析の活用方法について、他大学との比較は、農畜産系の単科大学が他にないから、あまり意味がないと思うので、経年推移を見ている。もし、他大学と著しい差があった場合は、見直しの対象になるかもしれない。

審議の結果、原案どおり承認した。

## **5) 帯広畜産大学基金の設置について**

議長から発議のあと、事務局長から、資料5に基づき、帯広畜産大学基金の設置について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認した。

## **方針審議**

### **1) 平成21年度人事院勧告に伴う本学役員及び職員の給与改定について**

議長から、平成21年度人事院勧告に伴う本学役員及び職員の給与改定について、人事院勧告の概要について説明があった。

引き続き、総務課長から資料6に基づき、本学対応案について説明があった。

審議の結果、平成21年度人事院勧告に伴う本学役員及び職員の給与改定についての方針を承認した。

## **報告事項**

### **1) 国立大学法人の現状について**

総務課長から、文部科学省高等教育局大学法人支援課が取りまとめた、資料7に基づき、報告があった。

議長から、第32回経営協議会は、平成22年1月21日(木)10時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨の発言があった。

以 上